

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	乳幼児医療費支給事業
-----	------------

担当課	子育て支援課
-----	--------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅲ	Ⅲ 健全な心身と思いやりを育むまち
基本施策	14	(14) 子育て支援の充実
主要施策	①	① 安心して産み・育てられる医療体制の整備

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	10	児童福祉費
目	05	児童福祉総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 乳幼児医療費支給事業は、乳幼児医療費及び未熟児養育医療費で構成している。 乳幼児医療費は、医療保険に加入している小学校就学前における乳幼児の医療費に係る自己負担分を支給する。 未熟児養育医療費は、「母子保健法」に基づく低体重児の届出の受理、未熟児の訪問指導及び養育医療の支給を行う。	医療費の一部をその保護者に支給することにより、乳幼児の疾病の早期発見と治療の促進を図る。未熟児養育医療費は、養育に必要な医療等の給付を行うことにより未熟児の疾病及び障害の予防を図る。	計画額	152,009	0	0	179,048	331,057	—	—
			当初予算額	72,555	0	0	89,356	161,911		
			決算額	33,938	0	0	43,180	77,118		
H27	具体的取組 乳幼児医療費は、医療保険に加入している小学校就学前における乳幼児の医療費に係る自己負担分を支給する。 未熟児養育医療費は、「母子保健法」に基づく低体重児の届出の受理、未熟児の訪問指導及び養育医療の支給を行う。	特になし	計画額	35,581	0	0	43,511	79,092	0.6	0.0
			当初予算額	35,581	0	0	43,511	79,092		
			決算額	33,938	0	0	43,180	77,118		
H28	具体的取組 乳幼児医療費は、医療保険に加入している小学校就学前における乳幼児の医療費に係る自己負担分を支給する。 未熟児養育医療費は、「母子保健法」に基づく低体重児の届出の受理、未熟児の訪問指導及び養育医療の支給を行う。		計画額	36,974	0	0	45,845	82,819		
			当初予算額	36,974	0	0	45,845	82,819		
			決算額							
H29	具体的取組 乳幼児医療費は、医療保険に加入している小学校就学前における乳幼児の医療費に係る自己負担分を支給する。 未熟児養育医療費は、「母子保健法」に基づく低体重児の届出の受理、未熟児の訪問指導及び養育医療の支給を行う。		計画額	39,727	0	0	44,846	84,573		
			当初予算額							
			決算額							
H30	具体的取組 乳幼児医療費は、医療保険に加入している小学校就学前における乳幼児の医療費に係る自己負担分を支給する。 未熟児養育医療費は、「母子保健法」に基づく低体重児の届出の受理、未熟児の訪問指導及び養育医療の支給を行う。		計画額	39,727	0	0	44,846	84,573		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	受給延件数(乳幼児医療)	当年度中の受給延件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	43,000	計画値	42,000	計画値	42,000	計画値	42,000
					実績値	43,336	実績値		実績値		実績値	
成果指標	受給延件数(未熟児養育医療)	当年度中の受給延件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	10	計画値	9	計画値	9	計画値	9
					実績値	10	実績値		実績値		実績値	
成果指標	受給率(乳幼児医療)	乳幼児医療対象児1人あたりのレセプト枚数 (受給延件数/市内の乳幼児数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	枚	計画値	21	計画値	20	計画値	20	計画値	20
					実績値	21.2	実績値		実績値		実績値	
成果指標	受給率(未熟児養育医療)	未熟児養育医療対象児1人あたりのレセプト枚数 (受給延件数/未熟児養育医療対象の乳幼児数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	枚	計画値	2.5	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	2.5	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	22点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	乳幼児医療費は総医療費の2割の本人負担額が実質不要になる制度です。乳幼児は抵抗力がまだ体に備わっておらず罹患しやすいので、乳幼児の健康保持と保護者の経済的支援のために必要です。						乳幼児医療費支給事業は、小学校就学前における乳幼児の医療費の自己負担分を支給し、乳幼児の疾病の早期発見と治療を促進して保健の向上と福祉の増進を図っている。したがって、今後も現行のとおりに継続すべきと考える。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	生きがい活動支援通所事業
-----	--------------

担当課	長寿障害福祉課
-----	---------

記入日	平成28年5月26日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅲ	Ⅲ 健全な心身と思いやりを育むまち
基本施策	15	(15) 高齢者福祉の充実
主要施策	①	① 健康づくりや介護予防の推進

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	05	社会福祉費
目	10	老人福祉費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 介護保険の認定を受けていない家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者等に対し通所のサービスを提供する。	高齢者の生きがいづくりと社会参加を推進し、社会的孤独感の解消及び自立生活の助成を図る。	計画額	0	0	0	43,784	43,784	—	—
			当初予算額	0	0	0	21,848	21,848		
			決算額	0	0	0	10,755	10,755		
H27	(委託先事業所)さぬき市社会福祉協議会、香東園、さざんか荘、サマリヤ。 (利用対象者及びサービス内容)市内に住所を有する65歳以上の一人暮らし高齢者、又は、昼間高齢者世帯で家に閉じこもりがちな方に、日常動作訓練、教養講座等のサービスを提供。	利用者の心身の状況に応じて適切なサービスが受けられるよう委託先事業所と連携を取った。28年度は、介護保険課で実施している事業との整合性も含めて事業内容の見直しを検討することとする。	計画額	0	0	0	10,946	10,946	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	10,946	10,946		
			決算額	0	0	0	10,755	10,755		
H28	(委託先事業所)さぬき市社会福祉協議会、香東園、さざんか荘、サマリヤ。 (利用対象者及びサービス内容)市内に住所を有する65歳以上の一人暮らし高齢者、又は、昼間高齢者世帯で家に閉じこもりがちな方に、日常動作訓練、教養講座等のサービスを提供。		計画額	0	0	0	10,946	10,946		
			当初予算額	0	0	0	10,902	10,902		
			決算額							
H29	(委託先事業所)さぬき市社会福祉協議会、香東園、さざんか荘、サマリヤ。 (利用対象者及びサービス内容)市内に住所を有する65歳以上の一人暮らし高齢者、又は、昼間高齢者世帯で家に閉じこもりがちな方に、日常動作訓練、教養講座等のサービスを提供。		計画額	0	0	0	10,946	10,946		
			当初予算額							
			決算額							
H30	(委託先事業所)さぬき市社会福祉協議会、香東園、さざんか荘、サマリヤ。 (利用対象者及びサービス内容)市内に住所を有する65歳以上の一人暮らし高齢者、又は、昼間高齢者世帯で家に閉じこもりがちな方に、日常動作訓練、教養講座等のサービスを提供。		計画額	0	0	0	10,946	10,946		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	生きがい活動支援通所事業の利用延べ人数	生きがい活動支援通所事業に登録し、利用している方の人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	7,268	計画値	7,268	計画値	7,268	計画値	7,268	
	広報等による周知	事業周知が不可欠なことから、広報等で事業内容を周知する	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		回	計画値	0	計画値	1	計画値	1	計画値	1
成果指標	生きがい活動支援通所事業の登録者数	生きがい活動支援通所事業の登録者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人		計画値	257	計画値	265	計画値	270	計画値	275
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		人	計画値		計画値		計画値		計画値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	団塊の世代が70代を迎え、独居の高齢者が増加傾向にあるなか、高齢者が住み慣れた地域で生活を送るための施策は今後益々重要となると考えます。そのため、本事業は介護予防や、利用者同士の交流の場として重要な事業であると考えます。一方対象者の増加により事業費の増嵩も考えられることから、昨年四月に改正された介護保険法の地域支援事業との整合性も勘案しながら高齢者福祉計画の基本目標である【「はつらつと暮らす」身近なところから健康づくり】を推進するために関係機関と協議し、事業内容の充実に努めたいと考えます。						本事業を行うことにより、増加する一人暮らし高齢者等の要介護状態への進行を防止し、自立した在宅生活の維持が図られていると考えている。一方、高齢化の進展により事業費の増嵩も予想されることから介護保険課とも協議し、事業の整合性について検討したいと考える。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園預かり保育事業
-----	------------

担当課	幼保連携推進室 学校教育課
-----	------------------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 少子高齢化の中、地域の実態や保護者ニーズに応じて、家庭と連携した子育て支援を図るため、通常の教育時間終了後及び長期休業期間中に幼稚園の責任の下、預かり保育を実施する事業である。	少子高齢化の中、地域の実態や保護者ニーズに応じて、家庭と連携した子育て支援を図るため、通常の教育時間終了後及び長期休業期間中に幼稚園の責任の下、預かり保育を実施する事業である。	計画額	0	0	34,152	12,316	46,468	—	—
			当初予算額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			決算額	0	0	9,465	190	9,655		
H27	保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後、預かり保育を実施する。	・降園時間が30分繰り上げられたことに伴い、各園で午睡の時間を確保するなど、預かり保育環境の改善を図った。 ※H28年度から「幼保連携推進室」に移管する。	計画額	0	0	8,538	3,079	11,617	0.5	10.0
			当初予算額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			決算額	0	0	9,465	190	9,655		
H28	具体的取組 保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後、預かり保育を実施する。		計画額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			当初予算額							
			決算額							
H29	保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後、預かり保育を実施する。		計画額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			当初予算額							
			決算額							
H30	保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後、預かり保育を実施する。		計画額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	預かり保育指導員数	預かり保育に携わる臨時職員(預かり保育指導員)の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	9	計画値	9	計画値	9	計画値	9
					実績値	12	実績値		実績値		実績値	
成果指標	預かり保育利用人数	預かり保育を利用した園児数 年間: 140人 一時: 45人	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200
					実績値	185	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	19点 /25点	4点	20点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	降園後に保育をする者がいない世帯の園児を対象に、幼稚園管理下での預かり保育を実施することにより、園児の健やかな成長の確保と保護者の子育て支援を図るものです。今後も、核家族化等の進展により、保護者の子育てへの不安や孤立感が高まる中、子育て支援の一環として、地域の実態や保護者のニーズに応じるため、通常の教育時間終了後や長期休業期間中に、預かり保育を継続していく必要があります。				核家族化の進展や共働き家庭の増加により、子育てへの不安や孤立感を有する保護者が増加している中、就労しているが、子どもを幼稚園に通わせ、幼児教育を受けさせたいという保護者のニーズに応えるため、幼稚園での預かり保育は、子育て支援の一環として必要な施策となっている。また、単に子どもを預かるだけでなく、養育的な機能を重視しつつ、通常の教育課程の延長として子どもの発達段階に応じた遊びや生活を通じ、保護者と共に子どもの育ちを支援していく場であるという点でも、大きな意義を有している。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	津田古墳群保存整備事業
-----	-------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 国史跡となった津田古墳群を本市の歴史財産として有効活用を図るための事業。	国史跡である津田古墳群を、本市の歴史財産の核として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	12,228	12,228	—	—
			当初予算額	0	0	0	5,702	5,702		
			決算額	0	0	0	957	957		
H27	津田古墳群を有効活用するための基本方針を策定するために保存管理計画を作成する業務。	津田古墳群の適切な保存管理をするための検討委員会を開催した。	計画額	0	0	0	304	304	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	304	304		
			決算額	0	0	0	957	957		
H28	津田古墳群を有効活用するための基本方針を策定するために保存管理計画を作成する業務で、印刷製本費、現地調査費を行い、保存管理計画書を刊行する。	津田古墳群を有効活用するための基本方針を策定するために保存管理計画を作成する業務で、印刷製本費、現地調査費を行い、保存管理計画書を刊行する。	計画額	0	0	0	1,924	1,924		
			当初予算額	0	0	0	5,398	5,398		
			決算額							
H29	保存管理計画に基づいて、津田古墳群の保全整備を実施する。	保存管理計画に基づいて、津田古墳群の保全整備を実施する。	計画額	0	0	0	5,000	5,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	保存管理計画に基づいて、津田古墳群の保全整備を実施する。	保存管理計画に基づいて、津田古墳群の保全整備を実施する。	計画額	0	0	0	5,000	5,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動 指標	協議回数	検討委員会等の協議回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
成果 指標	現状の保存管理	津田古墳群の環境整備等現状確認	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10
					実績値	8	実績値		実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	23点 /25点	4点		19点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		5点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		4点			
今後の 方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	津田古墳群と、四国一の規模をもつ富田茶臼山古墳を本市の歴史財産として一体的に有効活用するためには、保存管理計画が必要であり、また市民にも古墳群の価値を分かりやすく伝えるためにも必要である。				津田古墳群と、四国一の規模をもつ富田茶臼山古墳を本市の歴史財産として一体的に有効活用するためには、保存管理計画が必要であり、また市民にも古墳群の価値を分かりやすく伝えるためにも必要である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	JR駅関連施設管理事業
-----	-------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	11	(11) 公共交通網の充実
主要施策	②	②公共交通利用促進対策の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 JRの駅は、広域交通網におけるさぬき市の玄関口のひとつであり、特に志度駅はJRと維持管理協定を締結している。通勤・通学・通院などに利用する市民及び当市に来訪する観光客が快適かつ安全に利用できるように施設の維持管理等を行う。	JRの駅は、通勤・通学等に多くの市民が移動手段として利用しているため、駅利用者の利便性の確保・維持を目的に管理する事業である。	計画額	0	0	2,989	16,763	19,752	—	—
			当初予算額	0	0	1,217	8,163	9,380		
			決算額	0	0	195	4,540	4,735		
H27	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行う。 ・JR志度駅(ふれあい通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場)	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に施設の清掃を行う。 旧観光案内所を民間企業に貸与した。	計画額	0	0	886	4,115	5,001	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	886	4,115	5,001		
			決算額	0	0	195	4,540	4,735		
H28	具体的取組 駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行う。 ・JR志度駅(ふれあい通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場)		計画額	0	0	331	4,048	4,379		
			当初予算額	0	0	331	4,048	4,379		
			決算額							
H29	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行う。 ・JR志度駅(ふれあい通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場)		計画額	0	0	886	4,300	5,186		
			当初予算額							
			決算額							
H30	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行う。 ・JR志度駅(ふれあい通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場)		計画額	0	0	886	4,300	5,186		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	志度駅清掃回数	利用者が安心して快適に利用できるよう駅周辺及びトイレ等の清掃回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 365	実績値 365	計画値 365	実績値	計画値 365	実績値	計画値 365	実績値	
	放置自転車撤去回数	利用環境の維持・向上を目的に、放置自転車等の撤去実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	
成果指標	JR・琴電志度駅利用者数	JR志度駅及び琴電志度駅の1日当たりの利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 3,200	実績値 3,167	計画値 3,200	実績値	計画値 3,200	実績値	計画値 3,200	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	JR駅は鉄道とその他交通手段を繋ぐ、交通の結末点であり住宅や商店の集約、地域生活の拠点機能が形成されるなどの主要な公共施設である。 利用者が安心して施設を利用できるよう点検を行い、また、旧観光案内所を民間企業に貸与し、駅の集客機能の利用により、市内の不動産情報や市の観光案内の情報発信元となる施設として利用している。						JR駅は、通勤・通学及び観光など地域生活の重要な拠点であり、安全で快適に利用できるよう施設の点検、清掃等を継続して維持管理をする。 また、情報発信元としての活用を高めていく。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	観光協会事務局事業(観光振興対策関係)
-----	---------------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 県、市、市観光協会及び市商工会と連携して、観光事業の充実、本市への誘致宣伝を図り地域の活性化を行うことを目的とした事業である。	県、市、市観光協会及び市商工会と連携して、観光事業の充実、本市への誘致宣伝を図り地域の活性化を行うことを目的とする。	計画額	0	0	96,348	23,169	119,517	—	—
			当初予算額	0	0	48,463	11,446	59,909		
			決算額	0	0	24,087	5,938	30,025		
H27	さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行う。興津海水浴場管理。津田の松原美化清掃委託。おへんろつかさ養成講座全7回実施。39団体(イベント・地域行事)へ助成。※事業費は観光協会事業「観光宣伝事業」経費は除く。	施設管理や大串半島の遺跡、史跡の案内看板を設置した。各イベント行事への助成を行い、今後は観光対策として必要な事業であるかどうか、関係団体と協議しながらよりよい観光振興対策の推進を進めていく。	計画額	0	0	24,087	6,003	30,090	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	24,087	6,003	30,090		
			決算額	0	0	24,087	5,938	30,025		
H28	具体的取組 さぬき市の観光振興及び市経済発展のため、さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行う。		計画額	0	0	24,087	5,722	29,809		
			当初予算額	0	0	24,376	5,443	29,819		
			決算額							
H29	さぬき市の観光振興及び市経済発展のため、さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行う。		計画額	0	0	24,087	5,722	29,809		
			当初予算額							
			決算額							
H30	さぬき市の観光振興及び市経済発展のため、さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行う。		計画額	0	0	24,087	5,722	29,809		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	観光協会会員数	観光協会会員の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	360	計画値	380	計画値	380	計画値	380	
					実績値	354	実績値		実績値		実績値		
成果指標	観光地入込客数	市内の観光地、施設等に訪れた人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	千人	計画値	4,500	計画値	4,500	計画値	4,500	計画値	4,500	
					実績値	4,397	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	17点 /25点	5点	18点 /25点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点							3点
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点							5点
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点							2点
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点							3点
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)								
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止								
理由	観光協会の事業として、合併以前から続いているイベントや行事に対しての助成を中心的に行っており、地域の活性化に大きく寄与していると考えられます。その一方で、市民団体から似たようなイベントが多く、統合できないかといった意見もでていること、平成29年度は事業費の削減が想定されることから、今後のイベントのあり方を検討する必要があると思います。また、助成している行事の中には地元に着したのも多くあり、なかなか市外の人へPRできていないように思います。今後は市外へも目を向け、交流人口の増加を意識した観光振興対策の検討の必要があると感じます。				平成27年度は観光振興対策の推進として交流人口の増加を視野に入れ、観光協会と今後の方向性について協議を行ってきたが、既存のイベントをどうするか、また、新たに何をするかなどの議論に至らなかった。また、各行事の実施主体は地元のボランティアの方がほとんどで地域の活性化にも寄与していることから、具体的な統廃合の動きがみられなかった。次年度以降市の財源が減少する中で、平成29年度は事業費の削減が想定されるため、現在助成している額を削減する必要があるが、助成金が減少すれば実施できない行事がほとんどであることから、引き続き事業効果を検証しながら精査していく。また、事業のほとんどがイベント行事への助成で構成されており、市外へ向けた情報発信や企画等を活発に行うべく、観光協会本来のあるべき姿を考えながら、今一度協議していく必要がある。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	大串自然公園管理事業
-----	------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 瀬戸内海国立公園内に位置し、市民の憩いの場であり、観光スポットである大串自然公園及びさぬき市野外音楽広場の維持管理を行い、本市の観光振興に寄与することを目的とする事業である。	大串自然公園の眺望を活かすため、周辺環境の整備を順次実施し、来場者へ安全と安心、そして快適な空間を提供する。	計画額	0	0	16,328	59,876	76,204	—	—
			当初予算額	0	0	5,438	23,656	29,094		
			決算額	2,000	0	1,683	12,796	16,479		
H27	宿泊施設の火災報知器をリニューアルし、来場者へ安全を提供する。また、共用部分に空調機を整備し、来場者の快適性を向上させる。そして、野外音楽広場や芝生広場等の草刈、公衆トイレの清掃について、来場者が気持ちよく景観を楽しめるよう、維持管理を行う。加えて、市町定住・交流促進事業として、ピザ窯を設置し、市内外からの誘客効果を向上させる。	宿泊施設の火災報知器のリニューアルと共用部分の空調機整備が完了した。今後は恒常的に実施している維持管理業務の再点検を行い、事業の効率化を目指す。※市町定住・交流促進事業はH27年度の単年事業	計画額	0	0	4,082	16,969	21,051	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	4,082	16,969	21,051		
			決算額	2,000	0	1,683	12,796	16,479		
H28	具体的取組 公園内で利用者に危険が及ぶ可能性がある場所の洗出を行い、危険の解消又は回避に向けた取り組みを行う。野外音楽広場や芝生広場等の草刈、公衆トイレの清掃など、恒常的に実施している、自然公園維持管理業務について、事業効果が高い効率で現れるよう事業の再点検を行う。		計画額	0	0	4,082	16,969	21,051		
			当初予算額	0	0	1,356	6,687	8,043		
			決算額							
H29	公園内で利用者に危険が及ぶ可能性がある場所の洗出を行い、危険の解消又は回避に向けた取り組みを行う。また、野外音楽広場や芝生広場等の草刈、公衆トイレの清掃など、恒常的に実施している、自然公園維持管理業務について、事業効果が高い効率で現れるよう前年事業の再点検を行う。		計画額	0	0	4,082	13,969	18,051		
			当初予算額							
			決算額							
H30	公園内で利用者に危険が及ぶ可能性がある場所の洗出を行い、危険の解消又は回避に向けた取り組みを行う。野外音楽広場や芝生広場等の草刈、公衆トイレの清掃など、恒常的に実施している、自然公園維持管理業務について、事業効果が高い効率で現れるよう前年事業の再点検を行う。		計画額	0	0	4,082	11,969	16,051		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	既存施設の修繕件数	公園機能の維持に着目し、修繕件数とする。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	6	計画値	6	計画値	6	計画値	6	
					実績値	4	実績値		実績値		実績値		
活動指標	大串自然公園関連広告数	無料広告を掲載することで、観光客の増加を目指すため、広告数とする。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	6	計画値	6	計画値	6	計画値	6	
					実績値	10	実績値		実績値		実績値		
成果指標	利用者数	公園利用者数を算出することで、市内外の観光施設との比較と推移結果から来場者数を把握し、これを誘客力の成果とする。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	30,000	計画値	30,000	計画値	30,000	計画値	30,000	
					実績値	15,485	実績値		実績値		実績値		
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	3点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	公共施設及び設備の安全性と快適性に対して、利用者のニーズの質が年々向上して行くのに反し、実際の施設は老朽化が着実に進んでいます。老朽施設は何も手を打たなければ急激にその安全性を失って行くものであり、それは大串自然公園の施設についても同様です。課題に優先順位を設け、出来ることと出来ないことを精査し、それぞれに対処の方法を決定し、効率的に維持管理を実施して行きます。 また、野外音楽広場や芝生広場等の草刈については、誘客効果の高いイベント前に実施することで、来場者の施設に対するイメージを向上させ、公園内側溝の清掃は、台風などの自然条件を考慮し、適時に実施することで利用者の安全を確保して行きます。						大串自然公園は、その半島自体が瀬戸内海国立公園に位置し、観光資源としての価値を有していることから、これを継続的に維持管理していくことが重要であると共に、誘客を図るべき方策を取る必要がある。また、グリーンヒル大串、旧大串温泉及び児童館等半島にある施設については、建築後約30年が経過しており、その改修等については、重複投資などの手戻りが発生しないよう、今後、市のグランドデザインを考えていくなかで、慎重に協議を重ね、計画的に進めていく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	自治振興事業②(コミュニティ活性化関係)
-----	----------------------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	VI	VI市民協働による、持続可能な自主自律のまち
基本施策	38	(38) 地域コミュニティの活性化
主要施策	①	①コミュニティ意識の高揚と地域内団体の活動支援

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	50	自治振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	自治会運営補助金、さぬき市連合自治会補助金、コミュニティ助成事業補助金、地域まちづくり活動事業補助金等の交付をはじめとしてコミュニティの活動を支援する。	まちづくりは、市民参加、情報共有及び協働を基本として進めなければならない。このため、自治会等の活動を支援する事業である。	計画額	0	0	44,000	200,600	244,600	—	—
			当初予算額	0	0	34,000	104,263	138,263		
			決算額	0	0	21,184	54,853	76,037		
H27	○自治会運営補助金 ○コミュニティ助成事業補助金 ○地域まちづくり活動事業補助金 ○コミュニティの活動支援	自治会運営補助金、さぬき市連合自治会補助金、コミュニティ助成事業補助金、地域まちづくり活動事業補助金を交付した。	計画額	0	0	29,000	50,150	79,150	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	29,000	50,150	79,150		
			決算額	0	0	21,184	54,853	76,037		
H28	○自治会運営補助金 ○コミュニティ助成事業補助金 ○コミュニティの活動支援		計画額	0	0	5,000	50,150	55,150		
			当初予算額	0	0	5,000	54,113	59,113		
			決算額							
H29	○自治会運営補助金 ○コミュニティ助成事業補助金 ○コミュニティの活動支援		計画額	0	0	5,000	50,150	55,150		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○自治会運営補助金 ○コミュニティ助成事業補助金 ○コミュニティの活動支援		計画額	0	0	5,000	50,150	55,150		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	コミュニティ助成事業補助金の交付件数	コミュニティ助成事業補助金の交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
					実績値	2	実績値		実績値		実績値		
成果指標	自治会加入率	4月1日現在の自治会加入世帯数／市内総世帯数 近年、世帯分離に基づく新たな世帯の自治会加入が特に減少傾向にあり、共生のまちづくりのためにも加入率の上昇を目指す	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	80	
					実績値	77.83	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 ／25点	5点	25点 ／25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	まちづくりは、市民参加、情報共有及び協働を基本として進めなければならない。このため、自治会等の活動を支援する。						まちづくりは、市民参加、情報共有及び協働を基本として進めなければならない。このため、自治会等の活動を支援する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防災支援事業③(防災訓練関係)
-----	-----------------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	③	③ 災害発生時における体制の整備

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	総合計画や地域防災計画に基づき、市民の生命・財産を守るための防災・減災対策を推進するため、職員に対する訓練を実施することにより、発災時の体制の確認や職員の危機管理意識の向上を図る。※計画・予算・決算額は「②防災対策等の推進」の再掲。	風水害・地震・津波など災害発生時に迅速に対応できる職員配備計画を見直す。	計画額	59,565	0	103,550	124,240	287,355	—	—
			当初予算額	57,957	620,800	6,933	46,164	731,854		
			決算額	92,589	0	3,659	32,411	128,659		
H27	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施する。	前年度の配備人数など問題点を検証し改善した職員配備計画に見直した。	計画額	48,558	0	2,740	29,240	80,538	0.5	0.2
			当初予算額	48,558	0	2,740	29,240	80,538		
			決算額	92,589	0	3,659	32,411	128,659		
H28	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施する。		計画額	3,669	0	270	32,500	36,439		
			当初予算額	9,399	620,800	4,193	16,924	651,316		
			決算額							
H29	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施する。		計画額	3,669	0	270	32,500	36,439		
			当初予算額							
			決算額							
H30	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施する。		計画額	3,669	0	100,270	30,000	133,939		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	職員防災研修回数	配備計画分掌事務内容の研修を行う	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	0	計画値	1	計画値	2	計画値	2
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
活動指標	職員配備計画	災害発生時に迅速に対応できる職員配備計画の作成	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	職員防災研修参加人数	研修への参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	0	計画値	15	計画値	30	計画値	50
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	24点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		5点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
今後の方向性	理由											
	風水害・地震・津波など災害発生時に迅速に対応できる職員配備計画とするため、毎年問題点を洗い出し見直していく。緊急避難場所についても迅速に開設できるよう班員の研修を行っていく。災害時に市民が迅速に安心して避難できるよう安全な場所の指定を進めていく。					大規模な災害に備えるため、公助となる市職員の危機管理スキルの向上を図るとともに、関係機関との連携を強化する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	秘書事業(まちづくり寄附(ふるさと納税)関係)
-----	-------------------------

担当課	秘書広報課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	VI	VI市民協働による、持続可能な自主自律のまち
基本施策	34	(34) 歳入の確保
主要施策	④	④新たな歳入の確保

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	05	一般管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	まちづくり寄附(ふるさと納税)についてのPR活動等を充実させることにより、さぬき市の情報発信に努めるとともに、自主財源の確保に寄与していく。	寄附を通して、寄附者のさぬき市行政への関心と参画意識を高めるとともに、自主財源の確保に寄与する事業である。	計画額	0	0	0	634	634	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,251	1,251		
			決算額	0	0	0	581	581		
H27	10月に寄附者に対する返礼品のリニューアルを行った。それに伴い、申請書の様式変更を行った。ふるさと納税関連サイトへの掲載、広報さぬきへの掲載による広報活動を行った。	返礼品を寄附者が選択できるようにした。	計画額	0	0	0	158	158	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	158	158		
			決算額	0	0	0	581	581		
H28	まちづくり寄附(ふるさと納税)について広報さぬき等でPR活動を行う予定である。		計画額	0	0	0	158	158		
			当初予算額	0	0	0	1,093	1,093		
			決算額							
H29	まちづくり寄附(ふるさと納税)についてのPR活動等を充実させることにより、さぬき市の情報発信に努めるとともに、自主財源の確保に寄与していく。		計画額	0	0	0	159	159		
			当初予算額							
			決算額							
H30	まちづくり寄附(ふるさと納税)についてのPR活動等を充実させることにより、さぬき市の情報発信に努めるとともに、自主財源の確保に寄与していく。		計画額	0	0	0	159	159		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	広報紙への掲載回数	広報紙によるまちづくり寄附(ふるさと納税)のPR活動数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	寄附金額の総額	まちづくり寄附の1年間の総額	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	万円	計画値	300	計画値	500	計画値	500	計画値	500	
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1,391	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	17点 /25点	4点	17点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	平成20年度の税制改正によって、ふるさと納税制度が開始されました。また、平成27年度の税制改正では、寄附者の負担を減らし、多くの人にふるさと納税制度を利用してもらう目的で、全額控除されるふるさと納税枠が2倍になり、確定申告が不要となるふるさと納税ワンストップ特例制度が始まりました。こうした流れをうけ、テレビ番組や本でふるさと納税が取り上げられるようになり、市民の関心及び認知度も高まっています。さぬき市においても、昨年10月に返礼品のリニューアルを行ったこともあり、寄附件数・寄附金額ともに増加しています。さぬき市において、切迫する財政を鑑み新たな収入源を得ることは、持続可能な行財政運営にとって重大な課題です。そこで、今後まちづくり寄附(ふるさと納税)のPR活動の方法や返礼品の種類や内容の見直しを適宜行い、寄附金額を増やしていく必要性を感じています。						さぬき市のまちづくりを進めるための財源として、寄附金を広く募る。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	企業誘致推進事業
-----	----------

担当課	政策課
-----	-----

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	1	(1) 企業誘致の推進
主要施策	①	① 企業誘致の推進と流出防止

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	10	商工業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	企業立地は、財源及び雇用の確保などの面で重要な役割を担っていることから、新たな企業の誘致や市内企業の規模拡大等のための支援を行う事業である。	地域経済の活性化のため、製造業をはじめ多様な企業を誘致し、雇用の創出および安定的な財源の確保を図る。	計画額	0	0	0	4,819	4,819	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,638	1,638		
			決算額	0	0	0	2,581	2,581		
H27	都市圏でのフェアへの出展(1回:大阪市) 引合い企業との相談回数(10回)	県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアへ県と共に出席した。県外企業1社と企業誘致に係る契約が成立した。企業立地予定地の水道管引き込み工事に伴う負担金を補正予算で計上	計画額	0	0	0	819	819	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	819	819		
			決算額	0	0	0	2,581	2,581		
H28	都市圏でのフェアへの出展(1回:大阪市) 引合い企業との相談回数(10回)		計画額	0	0	0	1,000	1,000		
			当初予算額	0	0	0	819	819		
			決算額							
H29	香川県企業立地推進協議会において、県と連携して誘致活動を行うほか、引合いに応じて、市の制度及び用地情報の提供を行う。また、さぬき市企業立地促進条例が期限を迎えることから、更なる企業立地の推進を図るため、次年度以降の新たな制度を検討する。		計画額	0	0	0	1,000	1,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	企業立地促進条例の見直しによる、新たな支援制度を創設する。更に、新制度の周知に向け、パンフレット及びHPを刷新し、企業、金融機関及び関係団体を訪問するなどの積極的な企業立地に向けた取組を行う。また、引き続き都市圏のフェアへ出展するなどの誘致活動を県と連携して行う。		計画額	0	0	0	2,000	2,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	企業誘致フェアへの出展	県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアへの出展 件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	企業立地件数	市有地への工場等の新規立地件数(単年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	20点 /25点	5点		20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	<p>経済成長が伸び悩む中、本市においても新規企業の誘致は厳しい状況にあるが、市内の既存企業における工場増設や移設における助成制度の活用については、丁寧な説明を心掛け、一定の効果を上げていると考えている。</p> <p>また、誘致の取り組み方に関しては、情報発信に基づく引合いに対する対応といった従来からの形に加えて、商工観光課が主体で実施している職業あっせん事業等に関連した個別企業との関わりを活かし、積極的誘致にも取り組んでいける状況が整いつつあり、ワンストップサービス体制を整えて取組を充実させていく必要があると考えている。</p> <p>なお、従来の市有地及び土地開発公社有地に加えて、学校跡地の有効活用といった側面からも幅広く誘致に取り組む必要があり、今後も関係機関で情報共有を徹底し、少しでも立地の可能性がある案件については速やかに対応することにより、新規立地の実現を図っていきたい。</p>				<p>企業の立地は、雇用の創出だけでなく、関連産業の活性化、地域経済の循環などの相乗効果をもたらすことから、これまでの取組を継続しながら、より幅広く、柔軟な誘致活動を展開していく必要がある。</p> <p>また、市内の既存企業における工場増設等に係る助成制度の活用についても、一定の成果が出てきており、今後とも新分野進出などの第二創業、産学金の連携支援なども含め、関係機関と連携を密にしなが情報提供に努めていく必要があると考えている。</p>							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	地域おこし協力隊・集落支援員事業
-----	------------------

担当課	政策課
-----	-----

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	7	(7) 定住促進対策
主要施策	③	③まちの魅力発信と多様な交流活動の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	30	企画費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	地域おこし協力隊:市内の特産品の情報発信及び志度地区・多和地区の活性化 集落支援員:過疎地域の集落巡回を行い、集落の状況と課題の整理及び空き家の有効利用及び移住・定住の促進	都会からの若者を受け入れて、柔軟な地域おこし施策による地域活性化と過疎集落の課題整理を行うことが目的の事業である。	計画額	0	0	288	59,516	59,804	—	—
			当初予算額	0	0	168	29,779	29,947		
			決算額	0	0	48	9,007	9,055		
H27	・地域おこし協力隊員及び集落支援員の活動支援 ・新たな地域おこし協力隊員の募集 ・集落支援員の活動項目の追加	地域おこし協力隊員:市内の特産品をマルシェやピザ焼き体験を通じ市内外へ情報発信した。また生産者の意識向上を図った。 集落支援員:集落巡回から見えてきた課題に対する取組を新たな活動に	計画額	0	0	72	14,879	14,951	0.1	3.0
			当初予算額	0	0	72	14,879	14,951		
			決算額	0	0	48	9,007	9,055		
H28	・地域おこし協力隊員及び集落支援員の活動支援 ・新たな地域おこし協力隊員及び集落支援員の募集		計画額	0	0	72	14,879	14,951		
			当初予算額	0	0	96	14,900	14,996		
			決算額							
H29	・地域おこし協力隊員及び集落支援員の活動支援		計画額	0	0	72	14,879	14,951		
			当初予算額							
			決算額							
H30	・地域おこし協力隊員及び集落支援員の活動支援		計画額	0	0	72	14,879	14,951		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	活動報告掲載回数(広報紙)	隊員及び支援員の活動報告の広報掲載回数(広報さぬき)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	12	実績値		実績値		実績値		
成果指標	移住者数	転入届受取時に行っている転入者アンケートの回答者のうち、転勤・通学以外の理由で転入してきた者の人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	60	計画値	70	計画値	80	計画値	90	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	65	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	更なる本事業の醸成のため、平成28年7月末をもって3年間の任期終了となる現隊員と支援員に続き、第2期生の募集を行う必要がある。新たな隊員及び支援員は、テーマを絞った活動内容とすることで、市の目的を明確にし、活動自体をより充実したものとすることが重要である。						制度導入から3年が経過し、現隊員と支援員の任期満了を迎えることから、28年度募集に際し、活動内容等の見直しを行うこととしている。 地域おこし協力隊員については、全国的な需要増に伴い、人材の確保が難しくなっていることから、活動テーマを「多和地区活性化」と「源内の改革プロジェクト推進」の2つに絞り、地域密着型の取組を推進することにより、外部人材の円滑な導入と活動の定着を図ることとする。 集落支援員については、従来の集落支援活動に、移住コーディネーターとしての役割を加え、空き家の活用や移住・定住の促進等を絡めながら、地方創生時代にふさわしい地域づくりに取り組むこととする。						